

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

金融教育研究校 募集リーフレット

長野県金融広報委員会

田中 まゆみ

全国一の長寿県である長野県。未来を生きる子どもたちにとって、学校における金融教育は生涯にわたる「生きる力」を育む大切な教育

です。また、今年6月に消費者教育の推進に関する基本的な方針が閣議決定されたことも踏まえ、「金

融教育の普及」が近年にも増して重要となっています。

こうした中、当委員会では、「金融教育研究校」の委嘱に際して、できるだけ多くの学校や教員の方々に関心を持っていただけることを目的に、イラスト付きでポイントを簡潔に示したリーフレットを作成し新たな募集活動を展開しています。

従来の募集通知方式では、学校関係者の方々の反応をみていると委嘱校を増やしていくには限界があると感じていました。こうした状況を

少しでも改善していきたいと考え、県教育委員会とも意見交換を重ねて、今回のリーフレットを作成しました。内容は、学校関係者から寄せられていた照会事項である金融教育研究校へのサポート内容や実践事例などを含む4項目(①金融教育つて?、②金融教育研究校とは?、③委嘱期間は?、④金融教育の実践事例)に絞って簡潔・明瞭に取りまとめました。

当委員会では、このリーフレットが今年の募集に際して大きな効果が

を發揮してくれるものと期待しています。今後とも、長野県、財務事務所、教育委員会や金融広報アドバイザーの皆さんと連携を取りながら、金融教育研究校の開拓に一段と力を入れ、一人ひとりの子どもたちの金融リテラシーの向上に尽力していきたいと考えています。



イベント成功の カギは 「チームいしかわ」

石川県金融広報委員会

本多 輝代

当委員会では、毎年夏休みに小学生の親子を対象とした金銭教育イベントを開催しています。7

回目を数える今年も、二日間で1700人が来場しました。このような全国的にも大きなイベント

を継続して開催できている大きな要因は、中心となるスタッフの結束力と入念な準備にあります。当地の銀行協会・信金協会・石川県・財務局の中心スタッフが事前に5回以上打合せを行い、イベント会場の配置、出し物、記念品の選考にいたるまでみっちり相談します。

あと、忘れてはならないのが働きの金融広報アドバイザーの存在!今年も、当委に所属する11人全員がイベントスタッフとして参加し、来場した子どもたちとお

買い物ごっこなどで格闘(?)しました。今年度のアドバイザー派遣件数も現時点で130回を超えており、南北に長い石川県を日々飛び回っていた中では、このイベントへの全員参加には、本当に頭が下がります。

石川県は、他県に比べて幸福度が高いといわれますが、その要因の一つは、アドバイザーやイベントスタッフのこのような地道ながらも真摯な活動にあると私は思っています。こうした人たちが常に意見を出し合い、仲良

く協力しながら活動してくれたおかげで、事務局の私も約3年半の間、とても楽しく仕事ができました。今後は事務局担当をバトンタッチしますが、引き続き素晴らしい「チームいしかわ」を継続していただけることを願っています。



「チームいしかわ」の主なメンバーの皆さん(前列左が本多さん)